

## 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所  
 コード番号 4570 URL <https://www.ibl-japan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務執行責任者兼事業グループ管理本部長 (氏名) 中川 正人  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0274-22-2889

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	125	7.3	73		101		110	
2021年3月期第1四半期	116	2.9	101		127		129	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 110百万円 ( %) 2021年3月期第1四半期 129百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	11.89	
2021年3月期第1四半期	13.85	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,707	1,518	88.8
2021年3月期	1,838	1,629	88.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 1,516百万円 2021年3月期 1,627百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	770	27.7	107		154		162		17.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループの業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	9,314,590 株	2021年3月期	9,314,590 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,130 株	2021年3月期	1,130 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	9,313,460 株	2021年3月期1Q	9,313,460 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が心配される中、国内外においては企業や大学等における研究開発活動が回復基調となり、主力の試薬関連のELISAキットの販売を中心に、回復の兆しが見えてきております。利益面においては、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、国内外の出張諸経費を抑制したことや研究開発における選択と集中等により販売費及び一般管理費が減少いたしました。その結果、売上高は125,150千円（前年同期比7.3%増）となり、営業損失は73,893千円（前年同期は101,611千円の営業損失）となりました。また、営業外費用に、関係会社の持分法による投資損失を32,319千円計上したこと等により経常損失は101,640千円（前年同期は127,681千円の経常損失）となりました。以上より、親会社株主に帰属する四半期純損失は110,740千円（前年同期は129,074千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ・診断・試薬事業

当事業の売上高は、試薬事業における主力のELISAキットの販売が前年より増加しており、企業や大学の研究活動が回復傾向にあると思われれます。一方、医薬関連事業においては、海外企業へ診断薬原料が販売されたものの、動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）の販売が無かったため、前年に比べ減少いたしました。なお、研究開発活動を積極的に行っているため経費が増加しております。

その結果、当セグメントの売上高は95,894千円（前年同期比4.9%増）、営業損失は22,357千円（前年同期は16,584千円の営業損失）となりました。

#### ・遺伝子組換えカイコ事業

当事業における各種抗体や受託等の売上高は、前年同期並みとなりました。しかしながら、当事業においては、組換えタンパク質の収量を10倍程度向上させる基礎研究を集中的に行っているため、研究開発費が先行的に発生しております。

その結果、当セグメントの売上高は11,233千円（前年同期比6.7%減）、営業損失は43,463千円（前年同期は70,127千円の営業損失）となりました。

#### ・検査事業

当事業においては、前期には新型コロナウイルス感染症拡大の影響が比較的大きく出ておりましたが、当期においては回復傾向にあり、主力の血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」において、比較的大きな受注案件が見られるようになってきております。

その結果、当セグメントの売上高は17,836千円（前年同期比52.9%増）、営業損失は4,514千円（前年同期は9,443千円の営業損失）となりました。

#### ・化粧品関連事業

「ネオシルク<sup>®</sup>-ヒト型コラーゲンⅠ」配合化粧品「フレヴァン」シリーズにつきまして、国内通信販売の売上高は前年同期と比較し若干の増加となりました。また、中国への販売につきましては、現地代理人と情報を共有し、中国向け製品の製造を進めております。一方、欧州においては、「フレヴァン」の注文が増加しており第2四半期以降の売上計上を見込んでおります。また、化粧品原料「ネオシルク<sup>®</sup>-ヒト型コラーゲンⅠ」の販売につきましても、順調に展開しておりますので、第3四半期以降の売上増が見込まれます。

その結果、当セグメントの売上高は1,875千円（前年同期比5.5%増）、営業損失は3,796千円（前年同期は5,695千円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比7.1%減の1,707,152千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が86,481千円減少したこと、受取手形及び売掛金（受取手形、売掛金及び契約

資産)が31,915千円減少したこと及び投資有価証券が32,319千円減少したこと等によるものであります。現金及び預金の減少につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと等により収入より支出の方が多かったこと、受取手形及び売掛金の減少につきましては、順調に回収が進んだことのほか、売上高が前第4四半期連結会計期間と比較し当第1四半期連結会計期間において減少していること、投資有価証券の減少につきましては持分法適用関連会社の投資損失の計上によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比9.7%減少し、188,609千円となりました。この主な要因は1年内返済予定の長期借入金を含む長期借入金の返済が6,500千円あったこと、法人税など税金の納付等によりその他(流動負債)が6,074千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比6.8%減少し、1,518,542千円となりました。この要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が110,740千円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	604,187	517,705
受取手形及び売掛金	198,942	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	167,026
商品及び製品	40,477	43,670
仕掛品	132,713	136,932
原材料及び貯蔵品	137,779	139,394
その他	10,869	15,301
流動資産合計	1,124,969	1,020,031
固定資産		
有形固定資産		
土地	127,122	120,081
有形固定資産合計	127,122	120,081
投資その他の資産		
投資有価証券	514,080	481,761
その他	71,865	85,277
投資その他の資産合計	585,946	567,038
固定資産合計	713,069	687,120
資産合計	1,838,038	1,707,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,248	7,582
1年内返済予定の長期借入金	11,000	6,000
賞与引当金	16,580	9,352
その他	110,179	104,104
流動負債合計	145,008	127,039
固定負債		
長期借入金	59,000	57,500
退職給付に係る負債	4,748	4,070
固定負債合計	63,748	61,570
負債合計	208,756	188,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,029,041	3,029,041
資本剰余金	2,061,421	2,061,421
利益剰余金	△3,461,357	△3,572,097
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	1,627,116	1,516,376
新株予約権	2,166	2,166
純資産合計	1,629,282	1,518,542
負債純資産合計	1,838,038	1,707,152

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	116,598	125,150
売上原価	58,715	59,479
売上総利益	57,883	65,671
販売費及び一般管理費	159,494	139,565
営業損失(△)	△101,611	△73,893
営業外収益		
受取利息	1	5
保険解約返戻金	—	3,107
補助金収入	2,000	—
その他	149	1,818
営業外収益合計	2,150	4,932
営業外費用		
支払利息	206	40
為替差損	1,621	319
持分法による投資損失	26,392	32,319
営業外費用合計	28,220	32,679
経常損失(△)	△127,681	△101,640
特別損失		
減損損失	118	7,041
特別損失合計	118	7,041
税金等調整前四半期純損失(△)	△127,800	△108,681
法人税、住民税及び事業税	1,274	2,058
法人税等合計	1,274	2,058
四半期純損失(△)	△129,074	△110,740
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△129,074	△110,740

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△129,074	△110,740
四半期包括利益	△129,074	△110,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,074	△110,740
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。